

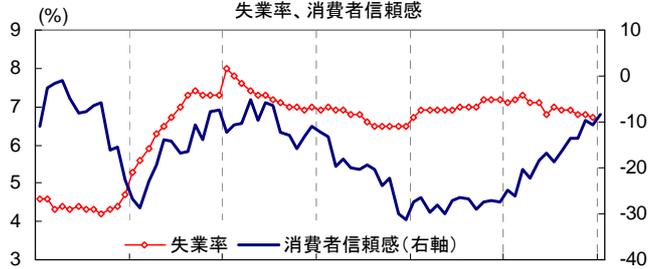
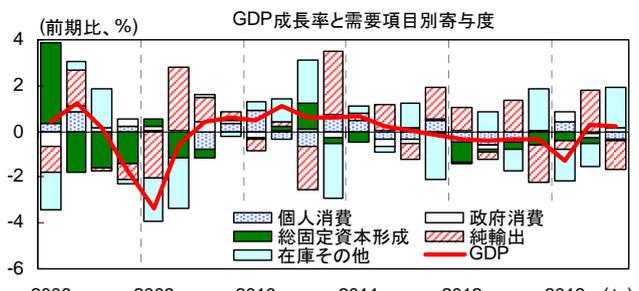
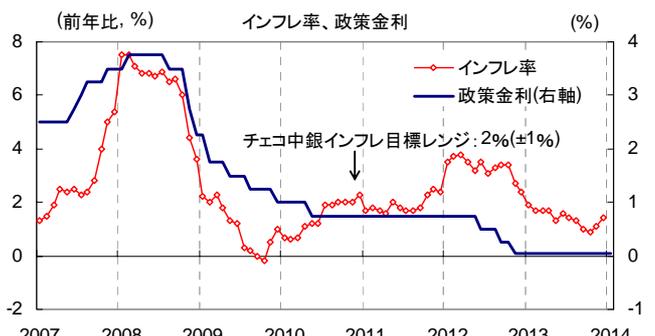
チェコ経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Czech Republic)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufj.jp)

概況	消費、労働市場
<p>チェコ経済は、昨年第 2 四半期に景気後退を脱したが、基調は弱い状態が続いている。第 3 四半期もプラス成長を維持したものの、実質 GDP 成長率(季節調整済)は前期比+0.2%にとどまった。内需低迷の継続に加え、純輸出のプラス幅縮小も下押し要因となった。</p> <p>チェコ中央銀行の政策金利は 0.05%と、実質的に利下げの余地が残されていない。インフレ率の一段の低下を受け、昨年 11 月、中銀は追加緩和策として 1 ユーロ=27 コルナを目標に無制限のコルナ売り介入を行うことを決定した。貿易統計を見ると、為替介入策導入後の 12 月は、ユーロ圏、特にドイツ向け輸出が大幅に増加した。ドイツ経済の回復に加え、為替介入によるコルナ安でチェコの輸出競争力がある程度高まったためと見られる。また、製造業の購買担当者指数 (PMI) は、輸出向け受注の好調を背景に、足元まで 9 カ月連続で拡大・縮小の分岐点である 50 を上回っており、今後も生産は堅調に推移する可能性が高い。一方、個人消費については、労働環境の改善や低インフレ等を背景に、消費者マインドに持ち直しが見られ、小売売上も第 4 四半期は伸びが加速した。ただし、小売売上の増加は、コルナ下落による輸入品価格の上昇を見越した駆け込み需要の影響も大きいと考えられる。今後についても、賃金上昇率の低迷等、家計を圧迫する要因は多く、消費回復の腰折れリスクは残る。</p>	<p>12 月の小売売上高は前年比+5.2%と前月の同+6.2%から若干減速したものの、高めの伸びが続いた。もっとも、11 月に開始された中銀による通貨介入を受けた、今後の輸入品価格上昇を見越した駆け込み需要の影響も大きいと考えられる。また、12 月の失業率(季節調整済)は 6.7%と、引き続き高水準にあるものの、約 2 年ぶりの水準まで改善した。1 月の消費者信頼感指数も、2010 年以来の水準まで改善している。1 月実施の電気料金引き下げ等が家計の負担感軽減に寄与していることは、消費の先行きに好材料と言えよう。ただし、賃金上昇率の低迷や、特に消費者ローンを中心とした家計向け貸出の伸び悩み等も考慮すると、個人消費の本格回復はしばらく先と考えられる。</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
GDP	物価、金利
<p>第 3 四半期の実質 GDP 成長率(季節調整済)は前期比+0.2%となった。需要項目別に見ると、純輸出のマイナスが成長率全体の押し下げ要因となった。ロシア向けを中心とした EU 域外向け輸出の鈍化を背景に、輸出の伸びが前期の同+2.5%から同+1.0%に減速した一方、輸入は同+0.5%から同+2.8%に大きく加速したことが影響した。個人消費も同▲0.7%と、2 四半期連続で減少した。在庫投資については、たばこ税引き上げ(今年 1 月)を見越した前年第 4 四半期における在庫積み増しからの反動減が一巡したことや、上半期の悪天候で減少した在庫を復元する動き等を背景にプラス寄与となった。</p>  <p>(注)季節調整済 (資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>12 月の消費者物価上昇率は前年比+1.4%と前月の同+1.1%から加速した。内訳をみると、食料品(同+4.8%)と輸送(同+1.1%)における上昇が押し上げ要因となった。中銀の通貨介入によるコルナ安で輸入品価格が上昇したことが背景とみられる。今後のインフレ動向については、コルナ安による押し上げは見込まれるものの、1 月の電気料金引き下げや、前年 1 月の VAT 税率引き上げの影響剥落、内需の弱さを背景とした需要サイドからのインフレ圧力の弱さなどが下押し要因となり、インフレ率は一旦低下が予想されている。中銀では、インフレ率は第 1 四半期に前年比+0.4%まで低下すると予想しているが、通貨介入による追加緩和策実施でデフレは回避されるとの見解を示している。またインフレ率はその後緩やかに上昇し、当初の想定よりも早く、第 3 四半期には中銀の目標である 2%(±1%)に回復すると予想している(11 月の通貨介入前の予想では 2015 年初頭)。2 月 6 日の金融政策委員会では、政策金利が 0.05%に据え置かれると共に、通貨介入による追加緩和策を継続する意向が示された。通貨介入に関しては 2015 年初頭まで継続される見通しとなっている。</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
生産	
<p>12 月の鉱工業生産は前年比+9.3%と、前月の同+6.2%から加速した。内訳を見ると、製造業が主要輸出品目である自動車引き続き高めの伸び(同+17.8%)となったこと等を追い風に、同+11.8%の増産となった。1 月の製造業の購買担当者指数 (PMI) は 55.9 と 2011 年以来的の水準まで上昇した。ドイツ向けを中心に輸出向け受注の増加ペースが加速した。ただし、中銀のコルナ安誘導を背景とした輸入品価格の上昇で、交易条件の悪化が進んでおり、製造業者の収益圧迫が懸念される。</p>	

チェコ経済・金融概況

1. 年、四半期

	2011	2012	2013	12/Q4	13/Q1	13/Q2	13/Q3	13/Q4
名目GDP実額* (10億米ﾄﾞﾙ)	216.0	196.5	-	49.5	49.6	48.6	49.3	-
実質GDP成長率* (y/y, %)	1.9	▲ 0.9	-	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 1.7	▲ 1.2	-
(民間消費支出)* (y/y, %)	0.5	▲ 2.1	-	▲ 3.1	▲ 1.3	▲ 0.3	▲ 0.1	-
(総固定資本形成)* (y/y, %)	0.4	▲ 4.3	-	▲ 7.4	▲ 5.6	▲ 6.1	▲ 5.3	-
鉱工業生産 (y/y, %)	6.1	▲ 0.7	0.6	▲ 4.2	▲ 5.4	▲ 2.3	3.8	6.3
小売売上 (y/y, %)	1.9	▲ 0.9	0.9	▲ 1.5	▲ 2.9	0.4	2.7	3.6
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	4.6	3.3	2.5	1.8	2.7	1.7	2.2	3.5
消費者物価上昇率 (y/y, %)	1.9	3.3	1.4	2.8	1.8	1.5	1.2	1.1
賃金上昇率 (y/y, %)	2.5	2.7	-	3.5	▲ 0.3	1.2	1.3	-
失業率 (%)	6.7	7.0	7.0	7.2	7.2	7.0	6.9	6.8
貿易収支 (百万米ﾄﾞﾙ)	677	3,523	6,096	132	1,879	2,301	1,036	875
輸出額 (百万米ﾄﾞﾙ)	136,191	132,656	135,348	33,542	32,765	33,423	33,631	35,525
輸出伸び率 (y/y, %)	10.8	7.8	2.0	4.2	▲ 4.6	0.9	5.0	7.0
輸入額 (百万米ﾄﾞﾙ)	135,513	129,133	129,252	33,410	30,885	31,122	32,595	34,650
輸入伸び率 (y/y, %)	9.2	5.4	0.1	4.3	▲ 5.5	▲ 3.2	4.2	4.8
経常収支 (百万米ﾄﾞﾙ)	▲ 5,877	▲ 4,804	-	▲ 1,874	706	▲ 742	▲ 1,493	-
資本収支 (百万米ﾄﾞﾙ)	4,193	8,865	-	5,450	▲ 47	1,501	1,038	-
対内直接投資 (百万米ﾄﾞﾙ)	2,319	10,595	-	3,299	2,894	1,084	102	-
外貨準備高 (百万米ﾄﾞﾙ)	94,155	101,860	-	101,860	98,652	102,054	102,135	-
対外債務残高 (百万米ﾄﾞﾙ)	39,670	44,265	55,722	44,265	43,892	43,196	45,326	55,722
株価指数	1,395	1,199	1,216	1,242	1,265	1,189	1,168	1,244
短期金利 (Interbank 3m) (期末値)	1.17	0.50	0.38	0.50	0.47	0.46	0.45	0.38
EU調整長期金利 (Govt.10y bond yields)	3.72	2.83	2.13	2.09	2.00	1.82	2.34	2.36
Koruna/USD	17.69	19.57	19.57	19.40	19.36	19.79	19.52	19.60
Koruna/Euro	24.59	25.14	25.99	25.17	25.56	25.83	25.85	26.68
Koruna/GBP	28.35	31.01	30.61	31.15	30.05	30.37	30.26	31.74

2. 月次

	13/06	7	8	9	10	11	12	14/01
鉱工業生産 (y/y, %)	▲ 4.9	2.2	2.0	7.2	3.5	6.2	9.3	-
小売売上 (y/y, %)	▲ 2.5	4.0	▲ 0.6	4.5	▲ 0.6	6.1	5.2	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	1.4	1.7	2.3	2.5	2.9	4.0	3.7	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	1.6	1.4	1.3	1.0	0.9	1.1	1.4	-
失業率 (%)	6.8	7.0	6.9	6.9	6.8	6.8	6.7	-
貿易収支 (百万米ﾄﾞﾙ)	800	264	199	576	694	670	▲ 463	-
輸出額 (百万米ﾄﾞﾙ)	11,190	10,793	10,578	12,288	13,156	12,368	10,055	-
輸出伸び率 (y/y, %)	▲ 2.1	4.1	1.7	8.9	2.6	5.7	15.0	-
輸入額 (百万米ﾄﾞﾙ)	10,389	10,528	10,379	11,712	12,462	11,697	10,518	-
輸入伸び率 (y/y, %)	▲ 4.4	4.4	▲ 0.8	8.9	1.2	4.7	9.3	-
株価指数	1,148	1,111	1,198	1,201	1,227	1,275	1,231	1,261
短期金利 (Interbank 3m) (期末値)	0.46	0.46	0.46	0.45	0.44	0.38	0.38	0.37
EU調整長期金利 (Govt.10y bond yields)	2.13	2.18	2.34	2.52	2.42	2.32	2.35	2.44
Koruna/USD	19.55	19.84	19.38	19.31	18.81	19.97	20.07	20.18
Koruna/Euro	25.76	25.94	25.82	25.79	25.66	26.93	27.52	27.48
Koruna/GBP	30.25	30.09	30.06	30.64	30.27	32.16	32.87	33.24

(注) GDPデータは季節調整済み、貿易収支は通関統計より。ハイライトは速報値

(資料)チェコ中央銀行、チェコ統計局、IMF、他。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。